

第5章 総社市の現状

5-1 概況

本市は、岡山県の南西部に位置し、東部は岡山市に、南部は倉敷市に、北部は高梁市及び吉備中央町に、西部は井原市及び矢掛町に接し、総面積は 212.00 km²を有しています。

古代より吉備の国の中心として栄えた地域であり、高度成長期の昭和 40 年代頃からは、県南工業地帯の発展にも伴い、宅地開発が進むとともに、その後背地として内陸工業も発展しています。特に、自動車関連、食品関連等の優良企業の立地が本市の発展に寄与してきました。近年では、歴史に培われた吉備文化と、高梁川の恵みをはじめとする豊かな自然環境を背景に、住宅都市・学園都市としての発展もみせています。

5-2 人口

年齢区分別人口の割合（表 1）については、平成 7 年から平成 20 年にかけて総人口は増加しています。また 14 歳以下の年少人口の割合は減少し、一方で 65 歳以上の老年人口割合は年々増加しています。本市の高齢化率は、平成 20 年の住民基本台帳においては 22.1%と 2 割を超えています。

世帯数については、人口増加に比べ世帯数の年平均伸び率が高くなっています。そのため、平成 7 年には 3.20 人だった 1 世帯あたり人数は、平成 20 年には 2.88 人と 3 人を下回っています。

表 1 人口の推移

		平成7年	平成12年	平成17年	平成20年
総人口		65,437	66,201	66,584	66,723
年少人口 (0～14歳)	人	11,033	10,308	9,773	9,649
	割合	16.9	15.6	14.7	14.5
生産年齢人口 (15～64歳)	人	43,812	43,544	43,040	42,343
	割合	67.0	65.8	64.6	63.5
老年人口 (65歳以上)	人	10,570	12,349	13,768	14,731
	割合	16.2	18.7	20.7	22.1
世帯数		20,423	21,674	22,740	23,167
1世帯あたり人数		3.20	3.05	2.93	2.88

資料：平成 7 年～17 年は国勢調査 平成 20 年は 4 月 1 日現在の住民基本台帳

平成 7 年、12 年は旧総社市、旧山手村、旧清音村を合計した数